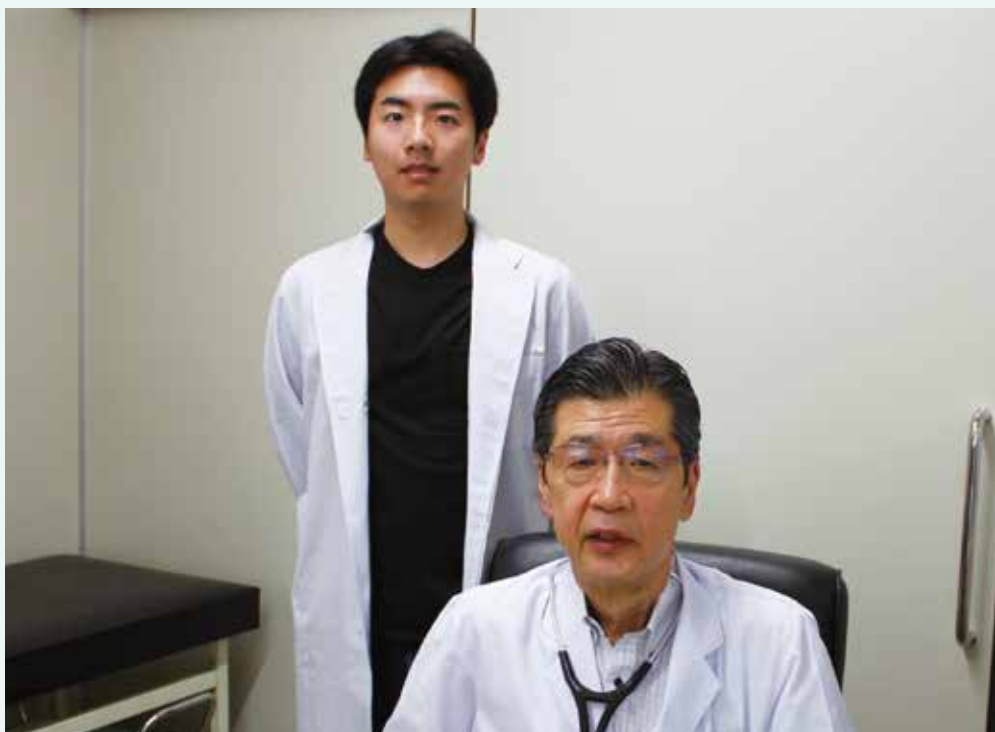


# 誠心 まごころ

第22号  
2024年7月1日 発行

発行  
医療法人社団 誠広会  
平野総合病院



## 循環器内科の紹介

内科部長 和田 久泰

循環器内科は、常勤医師と岐阜大学医学部附属病院からの派遣医師により診療を行っております。

主な対象疾患として、まず狭心症や心筋梗塞など動脈硬化によって生じる虚血性心疾患が挙げられます。当院もその治療に力を入れておりますが、急性心筋梗塞などの高度な医療を要する患者さんについては、岐阜大学医学部附属病院や岐阜市民病院・岐阜ハートセンターなどの高次医療機関と連携して治療を行っております。また、動脈硬化の進展防止のため、糖尿病や高血圧症・脂質異常症といった動脈硬化リスクファクターの検診・予防・治療にも注力しております。

一方、今後は高齢化とともに心不全の急増が危惧されており、心不全パンデミックと呼ばれています。心不全とは色々な原因により心臓のポンプとしての機能が低下して、身体が必要とするだけの血液を拍出できなくなった状態をいいます。原因としては虚血性心疾患や弁膜症・高血圧性心肥大・不整脈などがあり、いずれも加齢とともに増加していきます。

当院では心不全の患者さんの外来および入院での治療を行うとともに、心機能の低下した方のリハビリテーションにも積極的に対応しております。

# 新入職員の紹介

## 看護部

### 伊藤 未佑(西2階病棟)

看護師1年目として、周りの方へのあいさつや笑顔、マナーのある振る舞いや接遇を大切にしたいです。日々学ぶことは沢山あると思いますが、患者さんにとってよりよい看護が提供できるよう、一日一日学びを深め、知識・技術を磨いていきます。また、患者さんの声に耳を傾け寄り添うことができる看護師を目指して頑張っていきます。



### 田中 塔子(西3階病棟)

新人看護師として、責任を持って行動できるよう何事にも興味をもって積極的に取り組んでいきたいです。初めは業務を覚える事で精一杯になり、周りが見えづらくなってしまうと思いますが、患者さんに興味を持ち知ろうとする姿勢を大切にしていきたいです。また患者さんの情報を得るだけでなく、患者さんの疾患や生活背景・環境、ご家族など様々な情報を、自分が今まで獲得した知識や経験を活かしケアプランを立てることで、より良い療養生活を送ることができると思います。看護師として責任をもって行動できるよう、積極的に業務に取り組んでいきます。

### 平林 咲里(西3階病棟)

患者さんの状況や気持ちを尊重して、患者さんの思う様なタイミングで行動できるような看護師になりたいです。学生時代の実習ではいつも自分の計画に合わせた行動をすることで必死でしたが、3年生のとある実習時の経験から、それは患者さん主体の看護ではないと気が付き、それが今後の自分自身の課題となりました。患者さん中心の看護ができることを私自身の理想の看護師像とし頑張っていきたいです。

### 嶋田 那心姫(東3階病棟)

患者さんが自分らしく安心して穏やかに療養生活を送ることができるよう、安心安全な看護技術を提供できる看護師になりたいです。また、不安な思いや辛く感じていることなど、患者さんだけでなく、ご家族の方にも寄り添い支えられる看護師になりたいです。最初は出来ないことばかりですが、患者さんにもご家族にも「あのの人に頼りたい」と思ってもらえる看護師になれるように、いろいろなことに積極的に行動していきたいと思います。

## 各務 真代(東3階病棟)

患者さんが自分らしく生きることを支えられる看護師になりたいと考えています。

これを実現するために、日々の患者さんとのコミュニケーションから、状態をすぐに把握できる傾聴力も身につけていきたいです。また、研修を通して様々な看護技術を実施できるようになることで、患者さんやそのご家族に安心していただける存在となれるよう、今後も努力していきます。



## 眞鍋 沙羅(血液浄化センター)

私の目指す看護師は患者さんの安全と安楽を第一に考えられる看護師です。

就職したばかりで、これから覚えることも多く忙しくなりそうですが、どんな時でも患者さんにとって「危険になる要因はないか」を細かくチェックしたり、「いつもと何か違う所はないか」等を見たりして目指す看護師になれるよう精一杯努力していきます。



## リハビリテーション課

### 高橋 啓介(理学療法士)

入職前は「自分は理学療法士としてしっかり働けるだろうか」という不安がありました。先輩の指導から日々たくさんを学びながら、患者さんの「いつもありがとう」という言葉に救われています。知識や技術はまだ未熟ですが、患者さんから信頼される理学療法士になるために、これからも勉強に励み精進していきます。

### 松岡 優香(理学療法士)

理学療法士として患者さんの生活が豊かになるようにリハビリの知識・技術の習得に励み、患者さんやご家族の精神的サポートやコミュニケーションを大切にしています。

至らない点があるとは思いますが、皆さんにたくさん指導して頂き、成長していけるように頑張ります。